

サプライチェーン排出量 算定・活用セミナー
2016年9月14日

サプライチェーン排出量の 算定ツールのご紹介

サプライチェーン排出量 算定・活用セミナー事務局
みずほ情報総研株式会社

内容

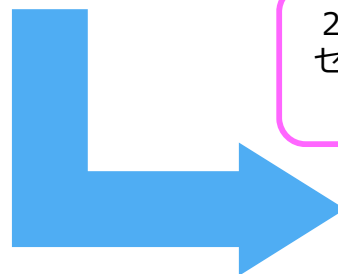
1. グリーン・バリューチェーンプラットフォームについて

2. 目的別算定ツールのご紹介

3. 算定支援ツール(Excel版)の使い方

1. グリーン・バリューチェーンプラットフォームについて

グリーン・バリューチェーンプラットフォームは、サプライチェーン排出量に関する環境省情報プラットフォームとして、国内外の動向、算定方法等に関するトピック、特にスコープ3の算定方法、事例等の紹介をしています。



2014年度からの
セミナー講演資料
を掲載



グリーン・バリューチェーンプラットフォーム
サプライチェーン排出量に関する情報プラットフォーム

サイトマップ 日本語 English

環境省 Ministry of the Environment 経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry

サプライチェーン排出量とは 算定ツール 取組事例 国内動向 国際動向 お問い合わせ

環境省ホーム > 政策分野・行政活動 > 政策分野一覧 > 地球環境・国際協賛協力 > 地球温暖化対策 > 温室効果ガス排出量 > グリーン・バリューチェーンプラットフォーム

グリーン・バリューチェーンプラットフォーム

サプライチェーン排出量に関する情報プラットフォーム

当HPは、サプライチェーン排出量に関する環境省情報プラットフォームとして、国内外の動向、算定方法等に関するトピックを掲載しております。
サプライチェーン排出量とは、スコープ1, 2, 3排出量の総量であり、当HPでは、特にスコープ3の算定方法、事例等の紹介を行っております。

- サプライチェーン排出量とは
- 算定ツール
- 取組事例
- 国内動向
- 国際動向
- お問い合わせ

2013年度からの算定事例を紹介

本日、ご紹介

2. 目的別算定ツールのご紹介

① スコープ3の全体像をつかむ

② スコープ3の算定方法を理解する

③ 自社のスコープ3排出量を算定する

2. 目的別算定ツールのご紹介

① スコープ3の全体像をつかむ

要点を知りたい

基本ガイドライン (Ver.2.2)

- ・ サプライチェーン排出量に関する国際的基準であるGHGプロトコル「Scope3基準」等との整合を図るとともに、国内の実態をふまえて環境省と経済産業省が策定した**我が国のガイドライン**。
- ・ **サプライチェーン排出量算定の基本的な考え方と算定方法を紹介。**

パンフレット

- ・ 「基本ガイドライン」に基づき、サプライチェーン排出量の考え方や算定方法等を分かりやすく説明。
- ・ **基本的な算定手順や簡易な算定方法、間違いやすい点やわかりにくい点の考え方等を紹介。**



参考書

- ・ 初心者用として、「基本ガイドライン」に基づき、サプライチェーン排出量の考え方や算定方法等をわかりやすく記載。
- ・ 算定の初心者である主人公Aさんとともに、**算定ポイントを体験しながら、読み進めていく。**



じっくり確認したい

2. 目的別算定ツールのご紹介

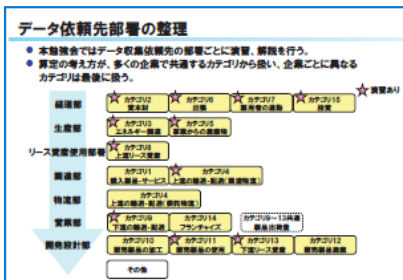
② スコープ3の算定方法を理解する

算定支援の勉強会資料

- ・ カテゴリ毎の算定方法について、**企業の実態を想定した現実的な算定方法**や算定の際の**留意点を詳しく紹介**。
- ・ **演習問題**を行うことで、算定の理解を深めていく。

排出原単位データベース (Ver.2.3)

- ・ サプライチェーン排出量の算定に活用できる**排出原単位**を取りまとめたデータベース。
- ・ 国内及び海外の排出原単位データベースも一覧形式で紹介。



④【カテゴリ11,13_算定編】演習問題

● 収集した情報は以下の通り、これを用いて、カテゴリ11、13の排出量を算定する。
 ○ 年間走行距離: 10,000 km
 ○ 耐用年数: 10年
 ○ 燃費: 10 km / L
 ○ ガソリン燃焼時の排出係数: 2.66 kg-CO2e / L (CFP-DB B-JP111002)
 ○ リース会社における前車もレンタカーとして使用する期間: 3年
 (3年経過後は廃棄に転じるものとする。)

製品販売先	数量	単位	CO2e排出量 (>×は計上できない場合は示す)	
			カテゴリ11に計上する場合	カテゴリ13に計上する場合
一般消費者	100,000	台	1-CO2e	×
グループ内リース会社	20,000	台	1-CO2e	×
グループ外リース会社	30,000	台	1-CO2e	×

毎年2万台購入し、3年で廃棄にするので、
保有しているリース車両数は 20,000 [台/期] × 3 [期] = 60,000 [台]

2. 目的別算定ツールのご紹介

③ 自社のスコープ3 排出量を算定する

算定支援ツール

- ・ サプライチェーン排出量の算定に活用できるExcelファイル。
- ・ 「基本ガイドライン」で紹介されている各算定方法が可能。

カテゴリ	カテゴリ名	排出量 (CO2eq)	割合 (%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	0	
カテゴリ2	廃棄物	0	
カテゴリ3	Scope 3に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	0	
カテゴリ4	輸送（上流）	0	
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	0	
カテゴリ6	出張	0	
カテゴリ7	雇用の移動	0	
カテゴリ8	リース資産（上流）	0	
カテゴリ9	輸送（下流）	0	
カテゴリ10	販売した製品の加工	0	
カテゴリ11	販売した製品の燃費	0	
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	0	
カテゴリ13	リース資産（下流）	0	
カテゴリ14	フランチャイズ	0	
カテゴリ15	投資	0	
カテゴリ16	その他	0	
合計		0	

←各カテゴリのまとめシート

↑カテゴリの算定シート

業種別の 特徴を把握

業種別算定事例集

- ・ 架空の算定事業者による算定シートの形式をとっており、算定方法、活動量、原単位、除外根拠などの具体的選択の事例を掲載。
- ・ 業種によって算定の考え方が大きく異なることから、**10業種別**(*)に算定事例を掲載。

(*：素材製造業、部品製造業、組立機械製造業、食品製造業、物流業、建設業、情報通信業、小売業、銀行業、宿泊業)

詳細算定事例

- ・ 各カテゴリの算定の参考として用いることができる詳細算定事例。
- ・ 組立機械製造業を想定。同業種は、Scope3全15カテゴリのうち対象とするカテゴリが多いことから、多様な事業者の参考事例として選定。

各カテゴリの詳細な 算定方法を把握

